



子宮内膜マイクロバイオーム検査 EMMA

感染性慢性子宮内膜炎検査 ALICE について

EMMA

EMMA検査は、子宮内膜の細菌叢を評価する検査です。

子宮内膜の乳酸桿菌の割合が高いと着床・妊娠率が上昇するとの報告があるため、子宮内膜の細菌バランスを整えるための最適な治療を推奨することが可能です。

ALICE

ALICE検査は、不妊や流産の原因となる慢性子宮内膜炎の原因を検出する検査です。

その結果で適切な抗生剤と治療法を提案することが可能です。

* 着床不全の検査のうち、慢性子宮内膜炎検査(CDI38)を実施されている方は不要です。

適応

EMMA/ALICE検査が適応となるのは、胚移植を2回以上しても着床に至らない方や2回以上流産を繰り返している方です。

時期

子宮内膜をエストロゲンというホルモン剤で調整した後、プロゲステロンホルモンを使用した5日目、月経周期でいうと排卵後の高温期です。

方法

子宮体がん検査と同様の方法で、子宮内膜組織を採取し検査に提出します。通常は3分程度で痛みも軽度ですが、子宮口が硬い場合など、器具挿入が困難な場合には痛みを伴います。またまれに痛みが強く、通常の外来での検査ができない場合もあります。

費用

[こちら](#)をクリックしてご確認ください。

*** EMMA/ALICE検査は子宮内膜着床能検査(ERA)と同時に行えます。**

ご不明な点がございましたら、
医師または看護師にご相談ください。

医療法人社団守巧会 矢内原ウイメンズクリニック
〒247-0056
神奈川県鎌倉市大船1-26-29-4F
TEL:0467-50-0112 FAX:0467-50-0113
<https://www.yanaihara.jp/> Email info@yanaihara.jp